

こまき市民討議会
まちづくりミーティング
2018
～ともに育てるまち小牧～

- 実施報告書 -

平成30年12月

(主催)

一般社団法人小牧青年会議所
小牧市

(協力)

こまき市民討議会実行委員会

目次

1 はじめに	1
2 事業概要	2
(1)報告書	
(2)市民討議会とは	
(3)こまき市民討議会の開催経緯	
(4)開催までの流れ	
(5)開催の概要	
3 話し合いの進め方	5
(1)前回からの主な変更点	
(2)具体的な進め方	
(3)情報提供	
4 話し合いの結果(テーマ1)	8
(1)話し合いの概要	
(2)投票結果	
5 話し合いの結果(テーマ2)	17
(1)話し合いの概要	
(2)投票結果	
6 意見のまとめ・取扱いについて	26
7 今回の反省と今後への課題	27
(1)無作為抽出による参加者募集について	
(2)「楽しい市民討議会」の手法について	
(3)謝礼について	
(4)運営体制について	
(5)今後の市民討議会のあり方について	
8 こまき市民討議会を終えて	30
9 会場の様子	32
➤ アンケート集計結果	36
➤ 資料編	53

1 はじめに

2012 年から開催されている「こまき市民討議会 まちづくりミーティング」も今回で 7 回目を迎えることが出来ました。これも 2012 年から今までこの市民討議会に協働していただいております小牧市協働推進課並びにご協力いただきました実行委員の皆様のご理解とご協力のおかげで開催できたと感じております。

こまき市民討議会まちづくりミーティングは、まちづくりへの市民参加の機会を増やし、自分たちのまちは自分たちで良くしていこうという住民自治意識の醸成を図ることで、普段は行政やまちづくりに対して声を上げる機会の少ない皆様にまちづくりを身近に感じてもらい、まちづくりや市政について関心を高めるきっかけとなっていると感じております。

本年度は小牧の未来を担う子どもたちに目を向け～ともに育てるまち小牧～のキャッチフレーズのもと子どもたちにどう成長してほしいか、小牧の未来を担う子どもたちを育てるために、地域で何ができるかをテーマに討議していただきました。その結果、想像以上に若い方々の参加が多く幅広い世代の方々に気軽に楽しく中身濃く討議いただく事が出来ました。

また今年も昨年実行委員として参加していただいた市民の方を中心に実行委員会を立ち上げ、準備段階から企画、当日の運営までご協力いただきました。ぜひ今後も市民討議会の自立した運営に携わっていただけたらと思います。

今回、こまき市民討議会まちづくりミーティング 2018 が無事に開催できましたのは、多くの実行委員の皆様、一緒に会の成功を願うご協力いただきました小牧市協働推進課の皆様のおかげであります。そして、何よりこの市民討議会にご参加いただきました市民の皆様に厚く感謝申し上げます。

一般社団法人小牧青年会議所
副理事長兼室長 丹野 雄介

2 事業概要

(1)報告書

本報告書は、一般社団法人小牧青年会議所と小牧市が締結した「こまき市民討議会まちづくりミーティング 2018 の実施に関する協定書」に基づき、こまき市民討議会の内容及びその手法について、一般社団法人小牧青年会議所がまとめたものです。

(2)市民討議会とは

市民討議会は、ドイツなどで取り入れられている市民参加の手法「プランニングツェレ（計画細胞）」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民がまちづくりの課題などについて話し合い、そこで出された意見や提言をまとめ、課題解決へ生かす新しい市民参加の手法です。

これまで市政やまちづくりに声を届ける機会の少なかったサイレントマジョリティー＝「物言わぬ大勢」と言われる市民の参加を促し、その「声なき声」をまちづくりに反映させる手法として活用されています。

こまき市民討議会ではこの手法をもとに、無作為抽出で選ばれた市民が、地域の課題・解決策について話し合ってもらい、まちづくりに参画するきっかけとなることを目的としています。

今回の市民討議会の特徴

- ・参加者は 18 歳以上の小牧市民から無作為抽出で選びます。
- ・参加者には謝礼を支払います。
⇒普段まちづくりに関心のない市民の参加を促します。
- ・仲根弘志郎様、一般社団法人小牧青年会議所より討議前に情報提供をします。
⇒課題に対する個々の知識の差を補完し、話し合いを円滑にします。
- ・グループで討議したまとめに対し、全員が投票をします。

(3)こまき市民討議会の開催経緯

こまき市民討議会は、市民がまちづくりに参加する新しい試みとして一般社団法人小牧青年会議所が市へ企画提案したもので、市民がまちづくりについてお互いに課題を共有し、自分たちに何ができるかを話し合うことでまちづくりに関心を持っていただくことを目的とし、平成 24 年度に市との協働によって第 1 回が開催されました。

(4)開催までの流れ

◆平成 30 年 4 月 9 日 協定締結

開催に向け、小牧青年会議所と小牧市において「こまき市民討議会まちづくりミーティング 2018 の実施に関する協定」を締結しました。

この協定は、市民討議会の実施について両者の関係や役割分担、相互協力の内容を定めたものです。

◆平成 30 年 8 月 16 日 参加案内発送

小牧市において無作為に抽出した 18 歳以上の小牧市在住者 2,000 人に参加案内を発送し、ご参加いただけるよう呼びかけました。

その結果、定員 40 人に対し 43 人の方から参加承諾をいただくことができました。

◆平成 30 年 9 月 28 日 参加決定通知書発送

抽選によって参加者 40 人を決定し、「参加決定通知書」を発送しました。

その後の辞退者もあり、当日は 31 人の参加となりました。

(5)開催の概要

ア 日時

平成 30 年 10 月 14 日(日) 10:00~16:30

イ 会場

小牧市公民館 講堂 (小牧市小牧二丁目 107 番地)

ウ タイムスケジュール

9:30~10:00	受付
10:00~10:20	開会宣言・理事長挨拶・市長挨拶・趣旨説明等
10:20~12:40	アイスブレイク・情報提供・自己紹介・討議・発表・投票・投票結果発表(テーマ1)
12:40~13:40	昼食
13:40~15:55	自己紹介・アイスブレイク・情報提供・討議・発表・投票・投票結果発表(テーマ2)
15:55~16:05	アンケート記入
16:05~16:15	参加者の感想
16:15~16:20	お礼の言葉・閉会宣言
16:20	記念撮影・解散

エ 討議テーマ

～ともに育てるまちこまき～

討議テーマ1 「子どもたちにどう成長してほしいか」

討議テーマ2 「小牧の未来を担う子どもたちを育てるために、地域で何が出来るか」

※チラシでは「そのために地域で何が出来るか」としていましたが、当日の討議がより活発化するように具体的なテーマに発展させました。

オ 謝礼

2,784 円（手取額 2,500 円 源泉徴収税額 284 円）

カ 運営体制

主催 一般社団法人小牧青年会議所・小牧市

協力 こまき市民討議会実行委員会

本年度も「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ、昨年度の市民討議会の参加者と昨年度実行委員としてお手伝いいただいた方々から募集を行い、11 人の方にご協力をいただきました。5 月より毎月 1 回実行委員会を開催し、キャッチフレーズの選定、アイスブレイク、進行の方法等様々なご意見をいただきました。

また、討議会当日の受付からメインファシリテーター、司会、テーブルファシリテーターまで全てにおいて実行委員に運営していただき、企画から当日まで自主性を持ってご協力いただきました。

メインファシリテーター

テーマ1 「子どもたちにどう成長してほしいか」

メイン1 吉本 隆正さん（実行委員）

メイン2 深山 麻衣さん（実行委員）

テーマ2 「小牧の未来を担う子どもたちを育てるために、地域で何が出来るか」

メイン1 深山 麻衣さん（実行委員）

メイン2 吉本 隆正さん（実行委員）

総合司会 清水 香織さん（実行委員）

➤ テーブルファシリテーター（実行委員（配置についてはP 6 参照））

3 話し合いの進め方

(1) 前回からの主な変更点

本年度は小牧の未来に目を向け、現在市が作成中であるまちづくり推進計画の参考意見となるよう青少年育成をテーマに掲げました。

昨年の参加者と実行委員の方々に「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ、準備段階の実行委員会から当日に至るまで全ての運営を行っていただき、当日は非常に良い雰囲気です討議会を行えたと感じております。



◆会場の飾り付けとスタッフの服装

開催日が10月という事もあり昨年同様会場はハロウィンの装飾をしました。他にも実行委員の方々に自作していただいた飾りつけなどを活用し会場の雰囲気づくりに努めました。

また、メイン、サブファシリテーターの方には仮装を、テーブルファシリテーターは全員お揃いのハロウィンTシャツを着ていただき、参加者が緊張しない雰囲気づくりをしました。



装飾、服装に関しても実行委員の方々に決めていただき、より市民がつくる市民討議会の一歩を踏み出せたと感じています。

◆お菓子と飲み物をつまみながら

リラックスして話しができるようにたくさんのお菓子と飲み物を用意し、自由につまみながら話し合いをしていただきました。

◆スタッフの配置

会場全体の進行役として司会者を1名、討議会参加者の意見を引き出す支援者としてメイン、サブファシリテーター各1名、また、テーブルファシリテーターとして各グループに1名ずつ配置し、和やかな雰囲気での話し合いができるよう工夫し、実行委員の方々に担当していただきました。



◆アイスブレイク

討議前に会場の雰囲気づくり、ファシリテーターの話しに注目してもらうため、アイスブレイクを行いました。

午前には小牧クイズと題し、日ごろ住み暮らす小牧についての問題を5問出題し、チームごとに話し合い解答していただきました。

午後は昼食後の眠気を覚ます意味も含め、身体を使ったじゃんけんを行いました。

(2)具体的な進め方

ア グループのメンバー

ひとつのテーブルに、一般参加者5人程度に加え、テーブルファシリテーター1人と小牧青年会議所メンバー1人程度を割り振りました。

また、テーマごとに午前・午後でテーマとメンバーを入れ替え、新鮮な気持ちで話し合いに参加していただきました。

イ 話し合いの進め方

テーマに沿って、自分の意見をできるだけ多くふせんに書き出し、それを大きな模造紙に貼っていきました。

書き出された意見をもとに、話し合いを通して意見をグルーピングしていき、合意形成を図りました。

ウ 発表

グループの話し合いの結果を、決められた時間で発表していただきました。

エ 投票

各グループの意見に全員で投票を行い、得票数に応じて順位を決めました。

(3)情報提供

各テーマについて

テーマ1：子どもたちにどう成長してほしいか

情報提供者：一般社団法人小牧青年会議所 土屋 洋一

小牧市に住む子どもたちの現状と取り巻く環境についてお話ししました。

テーマ2：小牧の未来を担う子どもたちを育てるために、地域で何ができるか

情報提供者：仲根 弘志郎 様

ご自身のされている地域活動、（地域協議会子ども部会、ホタルの会等）をもとにどのような思いで、どのような活動をしているかについて映像を用いてお話しいただきました。

4 話し合いの結果（テーマ1）

テーマ1：子どもたちにどう成長してほしいか

テーマ1では、子ども(小中学生)たちの現状、取り巻く環境をもとに将来どう成長してほしいかを討議していただきました。

(1) 話し合いの概要

小牧山グループ	ミユキ、りの、ユキ、スズキック、ダッチ、ひでき
タイトル	小牧ハンパない！
ワールドワイド	・一緒に見守る ・英語教育 ・外国人との交流 ・世界平和を願う
環境	・地球環境に関心を持つ ・野外教育の充実 ・新聞をよく読み疑問を投げかけてもらう
ドリーム	・夢を持って挑戦してほしい ・諦めさせない（金銭的な理由 etc.） ・一緒に夢を語り合う ・企業やプロスポーツの見学機会を与える ・失敗を恐れずチャレンジ精神 ・努力している子どもを応援
自己主張	・自分の意思をしっかりと持つ ・子どもの意見を聞く ・素直に自分の気持ちを表現できる ・周りの意見に左右されない人になる
常識	・大人が手本となる ・交通ルールを守る ・犯罪をしない ・自分から挨拶できる人 ・ルールを守れる大人になる
優しさ	・人の気持ちを思いやる人に ・一緒にボランティア ・たくさん友達がいる子に ・協調性のある子 ・自分がされて嬉しいことができる人に ・困っている人を前に手助けできる人 ・お年寄りへの配慮のできる人
投票結果	6 票
まとめ	・ハンパない夢（ドリーム）を持って自己主張できる人 ・ワールドワイドに世界にはばたけ！ ・やさしさ常識を持ち、より良い環境づくりをする

しのおかの桃 グループ	ヨッ!!さん、たみりん、コウジさん、なおちゃん、えみ
タイトル	人に思いやり、愛のある大人になってほしい！！
愛	<ul style="list-style-type: none"> ・大人が見本をみせる ・大人が町内会に積極的に参加する ・教養のある子 ・素直な子になってほしい ・コミュニケーション能力の高い人 ・生きがいを持てる子になってほしい ・道徳ある大人 ・何にでも一生懸命な人 ・しっかりとした考えをもった大人 ・道徳心のある人 ・ルールを守れる人
愛2	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ精神旺盛な人になってほしい ・自分の意見を言える人 ・頼りがいのある大人 ・子どもに目配りをする ・ライバル意識の高い大人 ・求められたことに応えられる大人
愛3	<ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしい ・元気な子 ・家族を大切にする大人 ・心の優しい子 ・人を思いやる人 ・愛のある人
投票結果	4票
まとめ	・元気な子+道徳心のある子+人にやさしい子+愛のある

パークアリーナ グループ	たかさん、クボちゃん、ゆかりさん、ももちゃん、やっさん、おかちゃん
タイトル	Komaki Dream
	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶のできる子 ・感謝のできる人 ・親が積極的に地域活動に参加する ・親の背中を見せる
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に積極的に参加 ・自分の住む町を愛せる人 ・人助けのできる子ども ・心身共にすこやかに ・家族での会話のある子 ・兄弟同士仲良く ・親友がたくさんいる子
	<ul style="list-style-type: none"> ・協調性を持った人 ・想像力豊かな子 ・他人を思いやる人 ・自立性を持った子 ・行動力のある子 ・やさしい子 ・自分に自信の持てる子 ・慈愛心のある子
	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の社会に対応できる大人 ・継続力のある人 ・自由な発想を持った人 ・健康な子 ・人生を楽しく過ごせる人 ・夢を持ち努力できる人 ・自分が好きになれる人 ・趣味をもてる人
投票結果	7票
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・夢を持ってなりたい自分になる！！ <p>その為には子どもがやりたいと思った事とことんやらせる。色々な経験を積ませる事で、自立性や協調性を身につけ、未来の社会に対応できる大人になってほしい</p>

信長グループ	たろうさん、ひらちゃん、よういちさん、ふーちゃん、のりちゃん、ちひろ
タイトル	愛のある大人
スマホやお金より大切なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・人の役にたつ人間 ・しっかり税金を納めれる大人 ・他人を尊敬できる大人 ・弱いものいじめをしない子 ・当たり前のことを当たり前でできる人 ・他人を認める事のできる大人 ・元気で健康がいちばん！ ・思いやりがある人 ・倫理観のある大人 ・様々な分野への挑戦 ・人と関わる事を多くする ・一生懸命な人 ・人の役に立つ人間 ・素直な人 ・運動好きな人
生まれた環境	<ul style="list-style-type: none"> ・親を大切にする ・周囲の人にやさしく ・友達を大切にできる ・食に関心のある大人 ・地元の良さを伝える事のできる人 ・本当の友達ができる人に
投票結果	9票
まとめ	すべてに愛を!!!つながる 支え合う

田県神社グループ	マーさん、ゆうちゃん、しんさん、やまちゃん、きくさん、ゆっこ、きみさん
タイトル	自立とやさしさ
お金	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりある生活 ・金銭感覚がしっかりした人 ・物を大切にできる人 ・お金の管理をきちんとできる人
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思を持つ ・目標を持ち行動できる人 ・何かに打ち込めることをもつ ・行動力のある人 ・日本人でことに誇りの持てる人 ・信頼される人 ・約束を違わない人 ・善悪が判断できる良識ある人 ・自立した大人 ・向上心を持った人 ・学者 ・留学 ・育ったまちを想う ・体力のある人
	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かい家庭を持ってほしい ・親と仲が良い ・いじめない ・人にやさしく ・他人と協力できる人 ・ひとりで抱え込まない ・親の仕事を見せる ・挨拶がきちんとできる ・モラルある大人 ・深い友人関係
投票結果	4票
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自立 金銭感覚、体験、目標達成、自信、健康 ・やさしさ モラルを教える、愛情を注ぐ、両親の中の良さ、友人関係

名古屋コーチン グループ	ヨシ、ガンちゃん、ちくわ、ジュン、ワッキー
タイトル	大人イコール子ども
ハート	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしさを教える ・イジメをしない ・思いやりのある大人 ・生き物を大切にする ・親孝行ができる子 ・サイコパス以外の大人 ・レディーファースト ・人を傷つけない
行動	<ul style="list-style-type: none"> ・相談できる場をつくる ・団体行動に慣れる ・子どもの前で大人をけなしてはダメ ・良いこと悪いことの分別を教える ・親の手伝いをする ・ボランティアに参加する ・いつも笑顔でいられる大人 ・行動力のある大人 ・仕事はやめても人生やめるな ・モラルある子 ・コミュニケーション能力のある大人 ・挨拶ができる大人 ・正義感のある大人 ・時間に余裕を持つ子 ・明るくハキハキした大人 ・気づいたことを言える大人 ・できれば毎日お風呂に入る(清潔感) ・お酒はほどほどに ・人種差別をしない ・自身の持てる子 ・借金は払える程度で ・周りから認められる大人
投票結果	9票
まとめ	大人が変わらないと子どもも変わらない

市民四季の森グループ	森田智也、かねこ、稲垣智泰、平尾、さんちゃん、小柳ゆかり
タイトル	心豊かに思いやる人
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルールを守る ・ 健康 ・ 褒める ・ 親が見本となる ・ 子どもの行動を尊重 ・ お金の流れを教える ・ 人生を楽しめる子 ・ いくつになっても好きな心をもつ ・ 勝負事を経験させる ・ 他人に迷惑をかけない ・ 相手の気持ちがわかる ・ 思いやる心を持つ ・ 挨拶をする ・ 家族以外との関わりを多く持つ ・ 親と一緒に楽しむ ・ プラス思考 ・ 地球を大切に ・ 人生を楽しむ ・ 自分で考える ・ 負け・勝ち・悔しさ・喜びの経験をさせる ・ 他人に迷惑をかけない ・ 自立できる大人 ・ 自分の強みを出せる人 ・ 日本文化に興味を持つ ・ 日本語を大切に ・ 社交性をもつ ・ 社会に貢献できる大人 ・ よく笑う
投票結果	4票
まとめ	<p>大人が手本を見せる</p> <p>あいさつ挑戦する姿</p>

MRJ グループ	しずさん、まるちゃん、ふじちゃん、のっちさん、やぎちゃん、なおさん、あさみさん
タイトル	人の幸せを願う楽しい大人
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい大人 ・ 自立心をもつ ・ 人を大切にできる大人 ・ 行動力ある大人 ・ 楽しいことを見つける ・ 人の幸せを願える人 ・ 興味があることをやらせてあげる ・ 子どもと一緒に楽しむ ・ 生活習慣を整える ・ 自分の考えをもった大人 ・ 一人で生きていく感覚を持つ ・ 向上心を持つ ・ 特技をもつ ・ 仕事を続けられる大人 ・ 責任感ある大人 ・ 素直な大人 ・ ポジティブ ・ 空気が読める ・ 自己管理ができるひと ・ 自分の考えを伝えられるひと ・ 時間の使い方を教える ・ 常に笑顔 ・ 一緒に旅行する ・ 時間を多く共有する ・ 一人で旅をさせる ・ 幅広いボランティア活動 ・ 専門職の姿をみせる ・ 年上の人のお話を聞く ・ 父親の職場を見せる ・ 家族を大切にできる人 ・ 子どもを大切にする ・ 世の中にはいろいろな人がいて、その中の一人だと知る ・ 一人では生きていけないことを教える ・ 子どもの意見を大切にする ・ 子どもにありがとうやごめんなさいを言う ・ 楽しい事を見つける ・ 動物にやさしい ・ 友達と仲良くする ・ 社会貢献 ・ 周りのことを考える ・ 人に感謝する ・ 他人の痛みがわかる人 ・ 自分の価値観を大切にする ・ 相手の立場に立って考える
投票結果	4 票
まとめ	未記入

(2) 投票結果

順位	グループ名	得票数
1位	名古屋コーチン	9票
	信長	9票
3位	パークアリーナ小牧	7票
4位	MRJ	4票
	小牧山	4票
	しのおかの桃	4票
	市民四季の森	4票
	田県神社	4票

5 話し合いの結果（テーマ2）

テーマ2：小牧の未来を担う子どもたちを育てるために、地域で何ができるか

テーマ2では、「子どもたちにどう成長してほしいか」というテーマ1の討議経験を踏まえ、子どもの成長のために、どういった場所や資源が必要か、地域で何ができるか等について、討議していただきました。

(1) 話し合いの概要

MRJグループ	ふじちゃん、ポーズ、やぎちゃん、エキ、きくさん、あさみ
タイトル	お寺 de コミュニケーション
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが集まれる場を作る ・人が集まる施設 ・地域のお寺 ・今までにないお祭り、中高生を主体として面白いことを・・・ ・元気なお年寄り ・子どもからのリーダー ・学習の場 ・食事を集まって食べられる環境づくり
区分なし	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが参加したくなるような行事の開催・動員 ・子どもが地域の行事等に参加しやすい体制づくり (ex：中学生・高校生を主体とした行事の企画、地域の問題について子どもが議論する場を設ける、子どもが自由に意見を言える環境の整備等) ・子どもたちが、学校帰りや休日に集まり、安心して、安全に、遊び、学ぶことのできる場所やイベントづくり (ex：お祭り、まちの清掃活動、もちつき大会、遠足・バスツアー、地域学習会等) ・子どもが集まることができる場所の確保 (ex：空教室・空家の利用、集会場の活用等) ・イベント等を企画できる人材の発掘・確保 ・両親とも共働きの家庭の子どもの居場所の確保 ・地域でサークルやスポーツチームを作る (ex：サッカーチーム等) ・親のネットワークの構築 (ex：子育て活動の地域リーダーの育成、学区を跨いだ親のネットワーク構築、父親の会の活用等) ・行政から資金援助を受ける ・地域の情報を告知する体制の整備 (ex：SNS や各種メディアの活用、中高生に向けた PR)
投票結果	13票

信長グループ	のりちゃん、まるちゃん、ゆっこ、ゆかり、なお、えみ
タイトル	子どもがドキドキ、親がワクワク
まとめ	小牧市内同士でホームステイ →親の意識改革 →（子どもにとって）他人との関わり、家族の大切さを再認識 →子どもの自主性
区分なし	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安全に遊べる環境づくり (交通安全、清掃活動、植樹・植花、あいさつ運動等) ・つながりをつくれるようなイベント等の企画・開催 (子どもたちが昔の遊びを体験できるイベント、職業体験、集団で行うゲーム大会、勉強会、ラジオ体操、小牧市内同士でのホームステイ、もちつき体験、炊き出し体験、ウォーキング、田植・稲刈り体験等) ・イベントへの子どもたちの主体的な参加 (子どもたちがイベントを運営、子どもたちに対するイベントに関するアンケートの実施、子どもたちが興味を持ったことを体験できる機会の提供等) ・子どもが集まることができる場所の確保 (ex: 空教室の利用、公民館等の集会場の活用等) ・親子を巻き込んだ行事の実施 ・地域の協力 (食材・資金・場所等の提供, 子どもに関する知識を有する教師や学校の協力、企業・店舗の協力等) ・親の意識改革 ・人材の育成 (義理人情、知識・技術、体力、情報発信力、集客力等) ・資源の確保 (資金、時間、手間、場所等)
投票結果	11票

市民四季の森グループ	スズキック、クボちゃん、ジュンさん、やまさん、ヨシさん、ちひろ
タイトル	見えない地域の宝を掘り出そう！！
まとめ	地域の宝とは？ =場所、土地、人材、スキル、企業 →マッチング窓口、システム
場所	学校、空地、集会場、魅力ある空間の作出、子どもと大人と一緒に活動できるような場所
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かした商品作り ・フリマ、古本市の開催 ・盆踊り、ゲーム大会、アーティストを招いてのイベントの開催等 ・ラジオ等のメディアを利用した地域の情報発信 ・イベント実現のための支援を得る (ex：地域企業、行政からの金銭支援等)
行動	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 ・通学路の見守り ・清掃活動 ・地域の運動会、子ども会の行事等への参加 ・メディアを利用した地域行事への参加推進
学び	・子育て経験、専門職としての知識経験等のスキルを活かせるシステムの構築、人材の確保
社会	・職業体験、保護者の職場見学等の社会見学の充実
投票結果	9票

しのおかの桃 グループ	コウジさん、かねこ、ヨッ！！さん、のっち、 ゆかりさん、たみちゃん、ガンちゃん
タイトル	地域 LOVE
まとめ	地域「愛」を持って「資源」（場所、金、人）の有効利用
区分なし	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施 ・地域にある企業の協力を得る (ex: 工場見学、企業とのコラボ商品の開発・コラボイベントの実施、小牧空港でのイベントの実施等) ・子どもたちが安全、安心できる場所・イベント作り (ex: 公園設置、子どもたちのための負担金徴収、市の施設の無償使用、行政からの補助の獲得、インフラ整備、遊具等公園のアトラクションの充実等) ・イベントの実施 (ex: 盆踊り、運動会、スポーツ大会、花火大会、スタンプラリー、歩け歩け大会、紅葉まつり、音楽会) ・地域の行事への参加推進 (ex: 行事に関する情報発信、行事を運営する人材の確保・育成、行事がある場合の企業等の営業時間の短縮や休日の付与、参加しやすい日程の選定等、行事への理解の獲得、コミュニケーションの充実、近隣への声掛け等) ・ボランティア活動の充実と子どもの意識向上 (ex: ゴミ拾い運動への参加等) ・自然や生物に対する知識を学べる機会の充実
投票結果	5票

パークアリーナ小牧 グループ	ミヒロ、りの、ひらちゃん、 やっさん、ももちゃん、きみちゃん
タイトル	公式アカウント「小牧新聞」
まとめ	世代別 年配層・・・回覧新聞 若年層・・・SNS SNS→回覧新聞 情報提供することによって拡散させる
区分なし	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に利用できる場所の確保 (ex: パークアリーナ開放、小中学校や保育園、市民四季の森、老人ホーム、公民館等の利用、施設使用料引き下げ等) ・安心安全なまちづくり (ex: あいさつ運動、声掛け、パトロール、通学路の見守り、街灯の充実、防犯カメラの設置、消防署の協力等) ・広報活動 (ex: SNS の利用、大型モニターの設置等情報発信力の強化、近郊新聞の協力、イベント広報の充実、回覧板の活用、口コミによる広報、ハッシュタグの活用等) ・イベントの開催 (ex: もちつき大会、親子映画観賞会、桃園の共同運営、清掃活動等) ・老人会との協力 ・クラブ活動の応援・支援 (ex: 場所や競技道具の提供) ・働く親の支援 (ex: 親同士の交流会の実施等)
投票結果	4票

田縣神社グループ	森田智也、なおちゃん、しず、ちくわ、マーサン、よっしん
タイトル	祭りだよ！全員集合！！
まとめ	声をかけあう、ふんいき作り、垣根をなくす イベントができる場所作り 積極的な交流！！（←大切）
歴史系	小牧の歴史について学ぶ機会を設ける（ex：勉強会、ツアーの開催、市役所で小牧市の歴史資料を閲覧、小学校・小牧山城の歴史を学ぶ等）
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の一般開放 ・学校行事の見学会 ・子どものいない人でも参加できるような行事の開催 ・通学路の安全確認
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して様々なイベント開催 （ex：もちつき大会、クイズ大会、地域対抗野球大会、地域別ラジオ体操、地域ごとでバーベキュー大会、料理教室等） ・イベントへの積極的な参加 ・イベントへの参加促進 ・イベント会場の確保
三世代行事	<ul style="list-style-type: none"> ・三世代が交流できるような行事の開催 （ex：町内三世代運動会、なわとび・けん玉・コマ等の昔ながらの遊びを交えた行事等）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや行事についての情報発信 （ex：SNSの利用、地域での声掛け、コミュニケーションの奨励、実行委員等運営側の活動紹介等） ・防災 ・清掃活動、ゴミ拾い ・あいさつ ・植樹 ・子どもが遊べる場所の確保・有効活用（ex：児童館等） ・自治会や子ども会役員への報酬
投票結果	3票

小牧山グループ	タッチ、よういち、ゆうちゃん、くにお、ひでき、さんちゃん
タイトル	つながり
まとめ	ボランティア活動に参加してもらおう人たちを探そう！見つけよう！ 集めよう！増やそう！
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まることのできる環境づくり (ex：公園、老人ホーム、小中学校、空地の活用等) ・学びの場を作る (ex：学生が意見を出すことができる場所、勉強を教えてもらえる場所、進路相談ができる場所、他人の経験を聞くことができる場所等) ・学びの場を提供できる人材の確保 (ex：講師を呼ぶ、学校の先生の協力を得る等) ・安心・安全なまち ・LINE グループを作る ・小牧市の祝日を作る ・資金
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催 (ex：スポーツ大会、学校でのキャンプ、体験教室・体験学習、野菜作り、同窓会等) ・イベントの担い手の確保 (ex：小中学生・高校生にイベントの運営を任せてみる、地域のことをよく知る方の協力等)
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の機会に関する情報提供 ・地域住民同士の交流 ・親同士の交流 ・まとめ役・けん引役となる地域のリーダー
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 ・ゴミ拾い
伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統を伝え、学べる機会を作る (ex：おじいさん・おばあさんから若い世代へ伝統について語る場を設ける、伝統について詳しい人を呼ぶ、歴史を知ることができる場所を訪れる等)
一体感	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツチームを作る ・小牧発祥のスポーツを作る ・運動会
投票結果	3票

名古屋コーチン グループ	ミユキさん、稲垣さん、おかちゃん、 しんさん、ワッキーさん、ふくみ
タイトル	安全、安心のまちづくり
まとめ	安全 (交通—登下校の見守り・自転車等講習, 防災—地域での避難訓練・ 防災マップ・防災教室、防犯—近所づき合い・街灯) →安心
区分なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの開催 (ex: 職業体験、おまつり、外国人との交流行事、世代間での交流行事、スポーツを通じた交流行事等) ・ イベントへの参加促進 (ex: 保育園や学校の行事へ積極的な参加、魅力のあるイベントの企画、イベントに参加することのメリットの明確化・発信、イベント行事の参加・開催に伴う負担を減らす等) ・ イベントの開催のための資源の確保 (ex: 資金集め、企業の協力、市の援助、まとめ役・リーダーの育成等) ・ 既存組織・資源の活用 (ex: 市議会議員、PTA、学校) ・ 安心安全な環境の整備 (ex: 登下校の見守り、防犯活動、清掃活動、道路の整備、自転車の教習会等) ・ 自由に意見を言える機会・場面を設ける ・ 子どもをひとりの人間として尊重する ・ 子どもと一緒に体験する ・ 「親」として、学び、成長することができる機会・場を設ける ・ インフラ整備 ・ 産業振興 (ex: 企業誘致、店舗の増加)
投票結果	1票

(2) 得票結果

順位	グループ名	得票数
1位	MRJ	13票
2位	信長	11票
3位	市民四季の森	9票
4位	しのおかの桃	5票
5位	パークアリーナ小牧	4票
6位	田縣神社	3票
	小牧山	3票
8位	名古屋コーチン	1票

6 意見のまとめ・取扱い等について

今回の市民討議会では参加していただいた市民の皆様にまちづくりへの関心を更に高めていただくと共に、市民同士がよりよいまちづくりのために何ができるかを主体的に考え意見交換し合う中で、自分達ができることを導き出し、小牧を想う気持ちを高めていただきました。そして、小牧の未来を担う子どもたちに目を向け、～ともに育てるまち 小牧～をキャッチフレーズとし、午前のテーマ「子どもたちにどう成長してほしいか」、午後のテーマ「小牧の未来を担う子どもたちを育てるために、地域で何ができるか」について、それぞれ討議を行っていただきました。

午前のテーマでは、「夢を持った大人」「愛ある大人」など夢や希望に溢れた子どもになって欲しいという意見や、「大人が変わる事で子どもも変わる」「大人が手本となる」などのまずは大人が変わらないといけないという意見も多く出されました。

午後のテーマでは、親も子どももワクワクドキドキするような行事として「小牧市内でのホームステイ」や「お寺 de コミュニケーション」など他者や家族との関わり合いの大切さ、「地域の宝を掘り出そう」や「地域 LOVE」などの地域愛を醸成させようという意見が多く出ました。

参加者アンケートの結果からも分かるように本年度の市民討議会では、小牧に引っ越して間もない方から長年住んでいる方、若い方から年長者の方まで参加者のほぼ全員がこのような機会を必要だと思っており、みなそれぞれに思う地域愛があり、人とのつながりから地域に対しても愛着を感じるのだと感じました。

今回出た意見は、市が作成するまちづくり推進計画の参考意見としていただけるよう実施報告書として市に報告すると共に、青年会議所としても次年度以降行う青少年事業やまちづくり事業の参考とさせていただきます。

7 今回の反省と今後への課題

討議会終了後に反省会を一般社団法人小牧青年会議所、小牧市協働推進課、実行委員会で行い、その結果下記のような意見が実行委員から出ました。

反省会 平成 30 年 12 月 3 日 (月)

実行委員会・事前準備等について

- ・青年会議所の担当者が単年度制で終わって欲しくない。
- ・何か形として結果が残せるとよい。
- ・実行委員会欠席者だけでなく出席者に対しても振り返りが出来るような資料があるとよい。
- ・役割決めを行う時に役割を分かりやすく説明できるように目で見えてわかる資料があるとよい。
- ・実行委員の人数が足りなかった。

討論会本番について

- ・発表時にグループ紹介の時間を設けても良いのではないかな。
- ・参加者をもっと増やしたい。
- ・雑談の時間があると情報交換やグループ内がもっと打ち解けてよいのではないかな。
- ・実行委員の人数を増やす必要があるのではないかな。
- ・話し合いの結果はどうなるのか、行政にも反映させたい。
- ・参加者を増やすためにも当日までに欠席者が出る事を考慮した募集を行った方がよい。
- ・一般参加者、運営側の役割等、参加する立場によって時間の過ぎる感じ方が違うので考慮するとよい。

参加者へのアンケート結果を中心に、今回の市民討議会の考察と、今後への課題をまとめました。
(アンケート結果の詳細については後述)

(1)無作為抽出による参加者募集について

市民討議会の参加者募集については、共催である小牧市の協力のもと、18歳以上の小牧市在住者 2,000 人(平成 30 年 7 月 31 日時点)を無作為抽出し、参加案内を発送しました。(※参加案内の発送に係る個人情報については市において適切に管理されています。)

募集の結果、約 2.2%にあたる 43 人から参加承諾をいただきました。その後 12 人が参加辞退され、当日は 31 人の参加となりました。

無作為抽出という方法については、参加者の事後アンケートによると、参加者全員の方が「無作為抽出の方法は良い」または「無作為抽出と公募の混合が良い」との回答をしており、今後も基本的には無作為抽出を継続していくことが望ましいと考えられます。

(2)「楽しい市民討議会」について

参加者の事後アンケートによると、参加に対する率直な感想について、「楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計で 100%と参加者全員の方に楽しいと感じていただくことができました。

「今後も開催するべきだと思いますか」という質問について、「開催した方がよい」が 97%と、この事業の有用性・将来性を参加者自身が感じていることが見受けられます。

(3)謝礼について

まちづくりへの参加機会の少ない層に訴求する重要な要素として、1人あたり 2,500 円の参加謝礼を一般社団法人小牧青年会議所からお支払いしました。

また、当日は昼食を用意し、各グループにて一緒に食事をしていただくことで交友を深めていただきました。討議の最中の緊張感とは違った雰囲気での話しをしていただく機会となり、参加された全員の方に「よかった」と感じていただけました。(※謝礼、昼食に対し、市の負担金は充当しておりません。)

謝礼について、参加者の事後アンケートでは 87%の方がちょうど良い、13%の方がその他(必要ない)と回答をされています。無関心層への訴求という意味で謝礼は重要な意味を持ちますので金額等については今後も慎重に検討していく必要があると思われます。

(4)運営体制について

本年度も実行委員会の皆様に準備段階から当日の運営まで担っていただきました。

実行委員会の構成メンバーは当初は昨年度の討議会でも実行委員としてご協力いただいた方 11 人と一般参加者として参加いただいた方 3 人の合計 14 人の方で組織しましたが、体調不良や仕事などの諸事情のため途中棄権者、当日来られない方が 4 人出て討議会当日は 10 人での運営となりました。

第 1 回から第 6 回の実行委員会では、改めて市民討議会の趣旨、目的を共有し、キャッチフレーズの選定、アイスブレイクの方法など企画、役割分担等を決めていただきました。

司会者、メインファシリテーター、テーブルファシリテーターなど、当日の運営を実行委員の皆さんに行っていただき、青年会議所、協働推進課はバックアップに回ることで、市民によるまちづ

くりのイメージを今まで以上により強調し、市民が作り上げているという意識を醸成させることでまちづくりへの市民参画の意識をより高めることができたと感じています。参加者の事後アンケートでも「司会・メインファシリテーターの説明や進行は分りやすかったですか」という質問に対しても、97%の方が分りやすかったと回答いただき、PCの不具合により分かりにくい部分がありましたがそれ以外は問題なく行えました。これまでの経験によって、ファシリテーターの技量の向上が図られ、質の高い進行が行えたと感じています。

実行委員の皆さんには平日の仕事終わりのお疲れのところ6回にも渡る実行委員会にご参加いただき、ご負担になっていないかと心配になることもありましたが、討議会后、後日行いました反省会まで欠席者なく皆さんに参加していただき、実行委員の皆さんの討議会に対する熱い思いを感じました。実行委員の皆さんには、当日の昼食を用意させていただく以外はボランティアでやっていただいております。

(5)今後の市民討議会のあり方について

公募ではなく市内全域から無作為抽出により参加者を募り、参加者の皆様に討議していただくということはすごく意義のある機会の提供であると感じており今後も継続して行うべき事業だと思えます。今回の討議会を通じて感じたことはテーマ選定による参加者層の変化であります。前年、若者に目を向けたテーマ選定をしましたが若者の参加率は思うように上がりませんでした。今回子どもに目を向けたテーマ選定をすることにより若年層（10代20代）の参加者が10人と例年に比べ参加率が上がりました。本人が直接ではなく間接的に関わることに對することや人に対してのテーマの方が人々の関心は高くなることが伺えます。

4年前から取り入れた話しやすい会場の雰囲気づくりや、司会、ファシリテーターを市民の方に行っていただいた点についても、参加者に好評をいただくことができました。特に司会やファシリテーターを市民の方に行っていただいたことで、自分たちのまちを自分たちで良くしていこうという住民自治の意識向上へとつながり、一定の成果を得ることができたと実感しております。討議結果の反映、市民討議会に参加していただいた方がその後行動、活動に何か変化が出ているのかなどの調査についても今後議論をしていけるとよいかと思えます。

8 こまき市民討議会を終えて

こまき市民討議会実行委員会 委員長 脇田 英臣

今回、実行委員体制 2 年目でしたが、昨年より実行委員に任された部分が多くなり、やった方は達成感があったかもしれませんが個人的に一部の方に負担を多くかけてしまったかなと、もう少し分担を細かく振ってうまく回すことができなかつたのが実行委員長としての反省点でした。

実行委員のメンバーも第一回の実行委員会から会を重ねていくたびに徐々に減って 10 名と最低限の必要人数となってしまいましたが、各実行委員が複数の役割をこなしてもらったおかげで会自体は非常にスムーズに進んで時間も押すことなく少し早めに終了しました。特に大きなトラブルもなくできたのは開催までの準備がしっかりできていたからだと思います。

私もテーブルファシリテーターとして参加者と一緒に討議に加わりましたが、今回のテーマが小牧の未来を背負う子ども達をどう育てて行くかだったのでメンバーも若い世代が多く、意見の範囲も広がったように感じました。自分が予想もできなかった意見も出てきたので面白かったです。ただ、午前の討議終了後、昼食を取りながらグループ参加者とどんな感じか聞いてみたのですが、意外と時間が長かったと言う意見もありこちら側が気にしている事以外のことを参加者は感じているので、今後アンケートの意見などを参考にして次回以降もっとより良い市民討議会に成長していけば小牧のまちづくりに参加してくれる市民も増えるのではないかと思います。

最後に、小牧青年会議所や小牧市役所協働推進課のみなさまには、夜の打ち合わせや会場の準備など段取りしていただき大変お世話になりました。つたない委員長でしたが支えてくれたスタッフ一同に感謝します。ありがとうございました。



▲メインファシリテーターを務めた吉本さん（左）、深山さん（中央）、司会を務めた清水さん（右）



▲実行委員長の脇田さん

討議の様子



9 会場の様子

会場全体



一般社団法人小牧青年会議所

理事長 日下史諭規よりあいさつ



皆様おはようございます。はじめに脇田実行委員長はじめ市民討議会実行委員の皆様、本会の準備から運営までご尽力いただきまして誠にありがとうございます。私は一般社団法人小牧青年会議所第 47 代理事長を務めさせていただいております日下史諭規と申します。よろしく申し上げます。私たちは明るい豊かな社会を目指し日々活動をさせていただいております。小牧平成夏まつりやランドマークフェスタなど

様々な事業を行っていく中で皆様にまちづくり運動を身近に感じて欲しいという思いから 2012 年度よりこのこまき市民討議会まちづくりミーティングを開催させていただいております。そして昨年度から皆様方のように参加された方の中から実行委員会を立ち上げさせていただきまして本年度は 2 年目となります。本年度の運営は実行委員会の皆様主導のもと開催させていただけたこと、大変うれしく思います。一つひとつの積み重ねが小牧の豊かな未来に繋がっているのだと実感しております。本日も気軽に楽しく中身濃く、皆様方に楽しんで話し合いに参加していただければと思っておりますので夕方 16 時 30 分までの長丁場となりますが、どうかよろしくお願い申し上げます。私からの挨拶とかえさせていただきます。

山下史守朗小牧市長よりあいさつ



本日はこまき市民討議会まちづくりミーティング 2018 にご参加いただき誠にありがとうございます。開催にあたり小牧青年会議所、実行委員会の方々のご尽力に心から敬意と謝辞を表させていただきます。

平成 24 年度から討議会を開催し、より多くの方に小牧のまちづくりに関心を持っていただいております。ともにまちづくりを進めていきたいと考え、小牧市でも制度や機会の充実を図って

いるところです。例えば、協働提案事業化制度の市民提案などは、市民の方々からいろいろな提案をいただいて、その課題解決に市民と行政が協働で行っていくというものです。また、市政 60 周年の平成 27 年に自治基本条例を制定し、小牧市の自治のあり方、市民や議会、行政、市長などのそれぞれの役割などをあらためて記しています。

本日の市民討議会ですが、無作為抽出した 2,000 人の方に参加案内を送らせていただいております。タウンミーティングなどいろいろな機会を設けていますが、なかなか参加いただけないということもあります。そのような中、個別に案内が届くと「行ってみようかな」と思っていたら、本日は 31 人の方が参加と聞いております。普段、仕事に家庭にと忙しい皆さんですから地域のことを考える機会はなかなか無いとは思いますが、あらためて自分たちの身近な課題等と同じ市民の立場で、皆さんで話し合っていていただければと思っております。また、いただいた意見を見させていただき行政でやるべきことは反映をします。ただ、行政への要望ということだけではなく、市民自らが我が事としてまちのために何が必要で何ができるか、そういったことを認識していただくことも非常に重要だと考えております。ぜひこの機会から地域活動等にも興味を持っていただけて、いろいろなボランティアや市民活動などお時間あるときに少しでも参加してみようかな、と思っていただけると我々も一緒にまちを作っていける仲間が増えるので大変心強く思います。

本日は、「ともに育てるまち 小牧」ということで、子どもたちにどう成長してほしいか、そのために何ができるかななどをテーマに話し合いをされると伺っています。小牧市では教育大綱を作り、小牧市の教育の在り方について議論をし柱を立てているところです。それに先立って、市政 60 周年の時に、こども夢・チャレンジ No.1 都市宣言をさせていただきました。ブランドロゴマークや、「キミと一緒に、育っていききたい。」というキャッチフレーズを皆さんと共有をしながら進めています。子どもたちの夢・チャレンジを皆さんと一緒に応援する中で、市民の世代を超えたつながりが生まれ、支え合うまちを作っていこう、子どもたちの成長に合わせてまちも成長していきたいという思いを込めております。小牧に誇りや愛着を持っていただき、子や孫が住み続けたいまち、魅力と活力のある小牧を皆さんと作っていききたいと考えております。ぜひ皆さんの声をお聞かせください。本日はぜひ有意義なお時間をお過ごしください。

発表の様子



投票の様子





参加者の皆様ありがとうございました！